

第二次住民意見書に対する事業者見解書

	住民意見	事業者見解
1	<p>電波障害、夜間の救急車の音の懸念と病棟から家の中が丸見えになることへの不安</p> <p>171号線沿いの救急車侵入口の171号線を挟んで対面にあたる家です。消防署の近所であることは理解して自宅を購入しましたが、夜中の救急車の音で起こされることが度々あります。</p> <p>その上救急車の病院への侵入口が家の前にくるとなると夜満足に寝られないのではないかと不安で仕方ありません。民家が我が家しかないので1件位構わないではないかと見過ごされるのではないかと考えてしまいます。</p> <p>自宅の壁面ギリギリまでが電波障害予測地域となっています。あくまでも机上で決めた電波障害の予測地域です。電波障害が出てからでは遅いので電波障害対策の家屋に加えていただきたいと思います。</p> <p>我が家は2階建てです。病棟の窓から家の中が丸見えにならないように配慮していただきたいと思います。</p>	<p>救急車の新病院への進入口は、現在と同じ病院敷地西側の県道米谷昆陽尼崎線と病院敷地南側の国道171号線の出入口とし、県道・国道の交わる交差点に対し、2か所設ける計画です。</p> <p>救急車のサイレン音については、人命を救うための救急搬送に必要なものではあります。サイレン音への配慮につきまして関係機関と協議を行います。</p> <p>事前に、予測地域を含む事業敷地周辺への電波受信障害調査を行うなど、受信障害が生じない様、適切な措置を講じます。</p> <p>周辺住居のプライバシー保護のための措置を講じます。</p>
2	<p>衛星放送（スカパー）の受信状態は大丈夫でしょうかお尋ね致します。</p> <p>衛星放送（スカパー）の受信状態は大丈夫でしょうかお尋ね致します。</p>	<p>事前に、衛星放送を含めた電波受信障害の調査・予測を行うなど、受信障害が生じない様、適切な措置を講じます。</p>

	住民意見	事業者見解
3	<p>立体駐車場に関する事</p> <p>立体駐車場の設置場所について、近隣の環境や景観に関して重要な検討事項ではあるが、問題視すべきは民間の敷地に対してどう環境に変化を及ぼすかを検討していただきたい。</p> <p>まず第一に駐車場に関しての利用のしやすさ、利用頻度の検証。</p> <p>駐車場の利用者はまずどこから埋まるかと考えるとより病棟から近い個所から埋まると考えられます。そのため予測されることはまず、今の立体駐車場の位置であれば立体を選択せずまず平面駐車場から埋まると予想される。ショッピングセンターでもそうであるが立体駐車場よりまず平面を利用したい、そのため平面でことがたりれば立体の利用頻度があがらない。建設費用をかけてまで建設するのであれば使用頻度も考えなければならない。この場所を見ただけでまず市民は立体は遠すぎると感じる。平面があいてる場合は立体まで駐車しないことは必須。</p> <p>さらにこれだけの敷地で周辺は公共施設が建ち並ぶ中、北側にほんの数件の民家があるが病院建設で一番変化がおこる住民であります。まずはその周囲の住民の状況、環境を配慮していただいて、今の景観から悪くならないように場所を検討していただきたい。まず近隣住民の環境変化を最小限に検討して頂いていると思っております。その中で大きな変化となる立体はできるだけ変化が最小におさえることができる場所、かつ利用しやすい場所であるべき事項と考えます。</p> <p>この隣接の住民は救急車の騒音に関しても日々、体験して今後もそれに関して不安の状況の中、さらに音に加えて、建物圧迫感、さらに東側の日照りに関してもかなりの日照時間の変化がおこることははっきりと予測されます。場所も遠く利用もしにくいという、民家の敷地ギリギリに設計されていることに、住民の配慮はされておられるのかを疑問です。配慮されていれば圧迫感を感じないような場所、道路側などに検討されるなどと考えます。</p> <p>無機質な大型な構造物が住宅街側にたつことの原因がみあたりません。</p> <p>さらに今の設置ではこれだけ道路に囲まれている土地</p>	<p>立体駐車場及び北西のエリアは病院建物からも遠く、住宅に近いことから、滞在時間が長く、車両出入りの少ない職員用駐車場としての利用を想定しています。ご意見の通り利便性の高い平面駐車場を病院利用者用として利用することを想定しています。また、駐車場の台数については、現伊丹病院の入出庫台数をもとに、外来患者及び病院関係者の増加率を見込んだ必要台数を計画しています。</p> <p>北側の住宅に対して、立体駐車場の壁面は開口部をなくし、音・車両ライト・排気ガス・視線を遮断するように対策を講じる計画です。</p> <p>圧迫感の軽減については壁面素材の選定や壁面緑化の採用など手法を検討します。</p>

住民意見	事業者見解
<p>であるのにもかかわらずそのわずかな民家の隣地境界のさらに建設業法ギリギリで設計されることに市民の暮らしの状況を考慮されていないと感じられます。景観は大通りからの状況よりも民家側からの状況が生活に直結しているので重大事項であります。住民は建設されると一生その状況からかわることなく生活しないといけません。この設計がとても重大になります。昆陽池の環境、景観の変化になる重大事項です。</p>	
<p>立体駐車場は民家ギリギリの場所ではなく道路側の視野の広い側に設置して昆陽池の景観の維持をしていただきたいと思います。この周辺（こども救急病院）が設立される前は街路樹があり緑の多い環境でしたが、こども病院設立で木々は伐採され、今度は大きな無機質な立体駐車場ができると周辺の景観はまた悪くなります。</p> <p>立体建設に桃寿園を解体して建設するのであれば現在桃寿園の中心部でも同じであるので中心部の方が条件的にも北側より良いのではないのでしょうか？</p> <p>中心部になれば道路側に配置となり景観はすっきり圧迫はなく周囲は公共施設でありさらに道路があるため北側に配置するよりもすっきりした景観になります。東西の道路の正面であればさらに道路で開けており圧迫感はない上に病棟から近くなり利用しやすさもかなり向上する。</p> <p>案としては立体駐車場は、桃寿園の中心部くらいの場所に配置し、その北側は、こども救急病院の方の駐車スペースとしてはどうか。</p>	<p>障害者福祉センター（アイ愛センター）及び阪神北広域こども急病センターと東側には昆陽池公園から続く緑道が整備されています。現在は松風園により緑道からの視線を遮る形となっていますが、今回の配置計画では緑化した平面駐車場となり、緑道から見える立体駐車場の壁面緑化を検討しています。昆陽池公園からの緑を敷地内に取り込む計画としており、地域の景観向上を図る計画としています。</p> <p>また、現在の桃寿園の中心部付近に立体駐車場を配置した場合、必要な駐車場台数の確保が困難であるため、今回の配置計画における立体駐車場の位置にて近隣への環境対策を講じます。</p>
<p>その理由として現在も風邪が流行する頃になると、こども救急も駐車場はいっぱいになり待ち状態の車がシルバークロスターの駐車場に仮に止まっています。車が待機していて夜中、エンジン音になやまされることもあります。</p> <p>立体をたててしまうとその場所は融通がきかない。目の前がこども救急であるので、こどもたちの駐車場も検討すべき事項であるのでこれを機にそのことも踏まえて検討していただきたい。北側の突出したところは病棟からはかなり遠くなります。こども救急に近い場所であるかつ、こども救急も駐車場が不足していることから、利用の目的の価値どうあるべきか検討することで利用価値があると思います。</p>	<p>今後も阪神北広域こども急病センターと協議し、病院利用者駐車場の利用についても検討します。</p>

住民意見		事業者見解																	
<p>【立体駐車場の配置検討】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">現 案</th> <th colspan="2">変更 案</th> </tr> <tr> <th>配置</th> <th>理由</th> <th>配置</th> <th>理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桃寿園 北側位置</td> <td>隣地境界ギリギリの位置で、圧迫感、及び東の日照の变化予測</td> <td>桃寿園 北側をこども救急病院の駐車場にする。さらに感染のおそれがある場合の待合の場所をつくる。植栽など植えて公園にする。前がシルバーセンターでありお年寄りがこられるので遊歩道など作って外での憩い場所など。</td> <td>患者が増えて待ちの車がシルバーセンターの駐車場に仮でとめていて夜中のエンジン音に悩まされているため駐車場が必要。また感染系だと子供たちが外でまたないといけないので危険である。待ち場所がない。こども救急と市民病院との連携で市民の利用価値が高まる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>病棟からかなりの距離があり利用しにくいので低利用の予測。</td> <td>桃寿園 中心部～南部側に立体駐車場にする。</td> <td>道路側になり隣地もなく公共施設である東西に道路も通り見通しがいいので圧迫感なくなりさらに病棟に近くなり利用しやすい。</td> </tr> </tbody> </table>		現 案		変更 案		配置	理由	配置	理由	桃寿園 北側位置	隣地境界ギリギリの位置で、圧迫感、及び東の日照の变化予測	桃寿園 北側をこども救急病院の駐車場にする。さらに感染のおそれがある場合の待合の場所をつくる。植栽など植えて公園にする。前がシルバーセンターでありお年寄りがこられるので遊歩道など作って外での憩い場所など。	患者が増えて待ちの車がシルバーセンターの駐車場に仮でとめていて夜中のエンジン音に悩まされているため駐車場が必要。また感染系だと子供たちが外でまたないといけないので危険である。待ち場所がない。こども救急と市民病院との連携で市民の利用価値が高まる。		病棟からかなりの距離があり利用しにくいので低利用の予測。	桃寿園 中心部～南部側に立体駐車場にする。	道路側になり隣地もなく公共施設である東西に道路も通り見通しがいいので圧迫感なくなりさらに病棟に近くなり利用しやすい。	<p>近隣への日照障害については、建物の日影線図により日影の影響を把握し、日影規制に適合しています。</p> <p>立体駐車場の配置については意見の変更案にて提示して頂いております、現在の桃寿園の中心部付近に立体駐車場を配置した場合、必要な駐車場台数の確保が困難であるため、今回の配置計画における立体駐車場の位置にて近隣への環境対策を講じます。</p> <p>新病院の駐車場における、阪神北広域こども急病センター来所者の利用については引き続き協議します。</p> <p>敷地北側への遊歩道の設置や憩いの場所の設置については、敷地の制約上 困難であるため、立体駐車場を壁面緑化するなどの手法を検討することで景観向上を図ります。</p>	
現 案		変更 案																	
配置	理由	配置	理由																
桃寿園 北側位置	隣地境界ギリギリの位置で、圧迫感、及び東の日照の变化予測	桃寿園 北側をこども救急病院の駐車場にする。さらに感染のおそれがある場合の待合の場所をつくる。植栽など植えて公園にする。前がシルバーセンターでありお年寄りがこられるので遊歩道など作って外での憩い場所など。	患者が増えて待ちの車がシルバーセンターの駐車場に仮でとめていて夜中のエンジン音に悩まされているため駐車場が必要。また感染系だと子供たちが外でまたないといけないので危険である。待ち場所がない。こども救急と市民病院との連携で市民の利用価値が高まる。																
	病棟からかなりの距離があり利用しにくいので低利用の予測。	桃寿園 中心部～南部側に立体駐車場にする。	道路側になり隣地もなく公共施設である東西に道路も通り見通しがいいので圧迫感なくなりさらに病棟に近くなり利用しやすい。																
<p>駐車場の確保にばかりとわられず、こども救急病院などの利用を含めて全体の構想をつくり、コロナ渦で外での憩いの場所の確保など検討することが地域の環境の改善にもつながり、入院患者さんの病院以外での場所で心のケアにもつながる。</p>																			